

困苦に会ひたりしは我に善きことなり これによりて我 汝の律法を学び得たり【詩篇 119:71】

## 第一主日礼拝

午前 11:00-12:00  
(YouTube 同時配信)

前奏・黙祷

招 詞 コリント人への手紙 第一 15章 57-58節 (新約 352)

賛 美 疲れたる者よ (インマヌエル 158)

交 読 詩篇 42篇 1-11節 (旧約 975)

主の祈り・使徒信条

聖書朗読 創世記 3章 8-24節 (旧約 4)

牧者公祷 (換気を行います)

説 教 『頭とかかと』

松井 元始 牧師

応答のとき

賛 美 イエスはなれを優しく (インマヌエル 229)

感謝祈禱 (献金の感謝とともに)

頌 栄 父・御子・御霊の (インマヌエル 7)

祝 禱

後奏・黙祷

\* \* \*

報 告

【献金は週報に添付の封筒を用いて、入口の献金かごにお入れください】

〈司会〉 〈奏楽〉 〈受付〉 〈聖書朗読〉 〈感謝祈禱〉  
松井師 牧子師

配信をご覧になれない方には CD を後日お届けできます。お申し出ください。

インマヌエル王子キリスト教会 牧師:松井元始

〒114-0023 東京都北区滝野川 1-41-6 Tel 03-3910-4529

HomePage: <https://igm-ouji-church.jimdo.com/>

E-mail: [immanuelojichurch@gmail.com](mailto:immanuelojichurch@gmail.com)

銀行振込:みずほ銀行 王子支店 普通 1364893



## 『頭とかかと』 (創世記 3章 8-24節) 2021.7.4.

〈はじめに〉 善悪の知識の実を食べた二人の目は開かれました(7)。同時に、今までと違う状況が広がります。それは彼らだけに留まらず、私たちに至るまですべての人に影響を及ぼしています。

### I 目が開かれて

#### ① 自分を知る(7、10)

人のありのままの姿は、神が造られた祝福そのものでした。しかし目が開かれた彼らにはそれを恥じ入り、直視できません(7)。彼らはどんな思い・考えを抱いたでしょう。それが善悪の知識とどういつながりがあったでしょうか。

#### ② 自分を隠す(10)

恥じ入る彼らは身を覆い隠します(7、8)。何から隠れたのですか。以前はどうしていたでしょう。「裸であることを恐れて」(10)と隠れた理由を述べています。何を恐れていたのでしょうか。私たちが物事を隠すとき、どんな思いが根底にあるでしょう。

#### ③ 自分を守る(12-13)

人が何をしたのかを神は察知し、問い掛け、応答を求めます。神の問い掛けに人は正直に応答しているのでしょうか。彼らが本当に言いたいことを、代弁してみてください。同じ言葉をあなたも言ったことはありませんか。

### II 神の宣告

#### ① 蛇に対して(14-15)

神はこの出来事の当事者に宣告を下されます。善悪の判断は神の領分だからです。蛇にはのろいと敵意を与えます。神の創造の計画を覆そうと企て、まんまと成し遂げた神に敵対する者を、神は徹底的に対峙し、やがて彼の頭は打ち砕かれると宣告されます。

#### ② 女に対して(16)

本来神によって祝福された出産(1:28)が、女性にとって苦痛を伴うものとなりました。また、本来男と女は対等であり、お互いを補い助け合う関係でしたが、そこに支配・従属関係が入り込みます。今に至るまで私たちを悩ませている課題です。

#### ③ 人に対して(17-19)

本来、神が造られた園の木から思いのまま食べられた(2:16-17)のに、生きる労苦(17-18)とその結末としての死(19)が決定づけられました。神よりも妻の声に聞き従った代償です。一人の人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、全人類に及びました(ロマ 5:12)

### III 神のあわれみ

#### ① 神は呼び掛けられる(9)

人の背信行為を全知の神が気付いていないはずはありません。しかし、あえて常の如く彼らに呼びかけられます。神は人を見限り、諦めてはいないからです。神の御声は、私たちにどのようにして届いているのでしょうか。御声が聞いたなら、応えなければなりません。

#### ② 神は戦われる(15)

人を惑わし神に背かした者は欺く者(IIコリント 2:11)です。神が創造された世界を罪によって破壊した敵対する者に、神は立ち向かわれます。確かに世界は変わりましたが、やがて女から生まれる者が、彼の頭を打ち砕くと約束されます。御子イエスがその御方です

#### ③ 神は覆われる(20-21)

妻に「生きる」の意の名をつけたのは、どんな思いからでしょう。神は彼らのために、いちじくの葉に替えて皮の衣を着せられ、裸を覆われました。そのために血が流されました。これは罪を犯した人への神からのメッセージです(ロマ 5:8)。

〈おわりに〉 神とその確かな言葉を疑い背くのは、今に至るまで続き、同時にその結果と影響が人の世界に今もなお及んでいます。しかし、神は負かされてはいません。諦めてもいません。あの日に宣告されたあわれみと救いを携えて、呼びかけられています。(H.M.)